

2023年3月1日
2023年10月30日更新

慶應義塾大学理工学部

2025年度以降の「理工学部 AO 入試」の変更点について

2025年度理工学部 AO 入試（2025年4月入学者対象）より、学問分野への興味の高さを重視した募集を開始します。一般選抜とは異なり、学門別ではなく学科別に募集を行います。ただし、全ての学科が対象となるわけではありません。募集を行う学科については詳細情報とともに公開します。これにより、現行の理工学部 AO 入試は2024年度（2024年4月入学者対象）を最後に、募集を停止します。

2025年度以降の理工学部 AO 入試は、書類、筆記および面接により選考する総合型選抜です。ただし、学科によっては筆記を免除することもあります。選考にあたっては、2025年度以降の理工学部一般選抜における科目・出題範囲等に関わる教科の履修を高校卒業時に完了していることを前提とします。[詳細については別紙をご参照ください。](#)

※2025年度以降の理工学部一般選抜における科目・出題範囲等に関わる教科は、以下のWebサイトをご参照ください。

[2025年度以降の慶應義塾大学「一般選抜」の変更点について](#)

以上

理工学部 AO 入試 (2025 年度入学者対象)

理工学部 AO (アドミッションズ・オフィス) による入試制度は、一定水準以上の学業成績をおさめ、明確な志望動機をもっており、慶應義塾大学理工学部を第一志望とする者を対象とする入試制度です。特に学問分野への興味の強さを重視した募集を学科別に行います。高等学校在学時に勉学・課外活動などで研鑽を積みつつ、理工学部に入学後、他の学生の範となることが強く期待される者に入学を許可します。

選考は原則として書類選考、論理的な思考を問う総合審査、面接試験の三段階で行われます。書類選考によって優れた学業成績や課外活動による研鑽が認められた志願者に対し、筆記ならびに記述試験による論理的な思考を問う総合審査が行われ、その結果を踏まえて面接試験に進める志願者が決定されます。面接試験では、論理的思考の確認に加えて、希望する学問分野に対する旺盛な知的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力、といった資質を備えているかを十分な時間をかけて審査します。

■ 出願資格

以下の 1~5 の条件をすべて満たすことが必要です。

1. 慶應義塾大学理工学部での勉学を強く希望し、明確な目標をもって、本学部を第一志望とする者。
2. 高等学校在学中あるいはそれに相当する課程の期間中に、勉学・課外活動などで研鑽を積み重ねてきた者。特に、希望する学科の分野に関連して、深い興味を持つに至る探求（より深く理解している科学技術の内容や科学技術系コンテストの実績など）を行ってきた者。
3. 次のいずれかに該当する者。
 - ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を 2025 年 3 月卒業見込みの者。
 - ② 高等専門学校の第 3 学年を 2025 年 3 月修了見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を、2024 年 4 月 1 日以降、2025 年 3 月 31 日までに修了（見込み）の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、2024 年 4 月 1 日以降、2025 年 3 月 31 日までに修了（見込み）の者。
 - ⑤ 文部科学大臣が指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）のうち、国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC）の認定を受けた外国人学校の 12 年の課程を、2024 年 4 月 1 日以降、2025 年 3 月 31 日までに修了（見込み）の者。
4. 調査書記載の欠席日数の合計が 30 日を超えないこと。
5. 履修科目については以下のすべての条件を満たしていること。
 - ① 高等学校第 1 学年第 1 学期から第 3 学年第 1 学期まで（2 期制の場合は第 3 学年前期まで）に履修したすべての教科・科目の「全体の学習成績の状況」が 4.1 以上（小数点以下第 2 位を四捨五入）であることが望ましい。

② 次の科目をすべて履修し、各科目の評定がそれぞれ4以上であること。

教科 数学（以下の6科目の合計が15単位以上）

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C

教科 理科（以下の4科目の合計が12単位以上）

物理基礎・物理・化学基礎・化学

③ 外国語については、英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡを含み、合計14単位以上を修得していること。英語以外の外国語の単位で充当したい場合はご相談ください。

（注1）5-②または5-③のすべての科目内容を、別の名称の科目により修得している場合には、出願を認めることがあります。

（注2）5-③を満たせないが、同等以上の外国語の能力があることを証明することができる場合には、出願を認めることがあります。

（注3）高等学校以外に該当する者の成績評価に関する要件は、出願資格5に準じます。調査書の提出が難しい場合など、出願資格についての詳細はアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

■ 実施内容

2025年度AO入試で志願できる学科は電気情報工学科、数理科学科、化学科です。

AO入試以外の入試による入学者は第2学年から学科に所属しますが、AO入試による入学者は第1学年から学科に所属し、学科に設定されたプログラムを第1学年から活用することができます。なお、学科の併願および入学後の学科の変更はできません。

● 募集学科・募集人員

学 科	募集人員
電気情報工学科	最大10名程度
数理科学科	最大10名程度
化学科	最大4名程度

● 「求める学生像」ならびに「入学後の特色ある学び」

学 科	求める学生像	入学後の特色ある学び
電気情報工学科	<ul style="list-style-type: none">● ハードウェアおよびソフトウェアの両方を組み合わせたエレクトロニクスシステムに強い興味を持っている人● 数学、物理（電気回路、電磁気）、情報などの科目を深く学習する意欲がある人	<ul style="list-style-type: none">● 教員による学習サポート制度の活用 1年次から電気情報工学科2年生のために設けた学科内の制度を活用できる。各教員が少人数の学生の相談員となる。学習上の課題だけでなく生活面も含めて相談を受け付け、必要に応じて理工学部内の適切な窓口や専

	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記の科目に基づいてデバイス・レーザー・半導体・画像処理・通信・人工知能・量子技術・数学を応用したシステムなどの技術分野において高度情報社会を先導する意思がある人 	<p>門家への橋渡しを行う。学問的興味に応じて研究室見学の設定や専門図書などを紹介する。適宜懇親会などを開催し学生間の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講義への早期参加 2年生科目である「電気情報工学セミナーⅡ」を先取りし、電気情報工学科の各教員が提示する課題を少人数グループで取り組むプログラムに2年生と共に参加できる。このプログラムにより研究室で行われる研究開発の基礎や、それに関連する課題について体験的に学ぶ。 ● AO入学者の交流の場形成と活用 学科別AO入試の入学者同士の交流の場(電気情報工学、数理学、化学)に参画できる。
<p>数理科学科</p>	<p>以下のいずれかを満たし、優れた学修成果が見込まれるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 数学がとにかく好きな人 ● 数学の理論を奥深くまで追究したいと思う人 ● 数学の応用や研究で、何かを成し遂げたいと思う人 ● 現実の問題を数学で解決する能力を身に付けたい人 ● 数学を通じて世界的に活躍したいと思っている人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員による学習サポート制度の活用 1年次数学科目を担当する数理科学科の教員による相談員制度を活用できる。 ● 動機付け企画の活用 少人数セミナー、夏季集中講義や研究室見学を通して、数理科学の先端分野に早くから触れる機会が得られる。 ● 矢上施設の早期利用 1年次から矢上キャンパスの数理科学科図書室やコモンルーム(学生、教員が気楽に議論、談笑する学科内スペース)などの設備を利用することができる。 ● AO入学者の交流の場形成と活用 学科別AO入試の入学者同士の交流の場(電気情報工学、数理学、化学)に参画できる。

<p>化学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 化学が好きで、今後も化学、および化学に関連した学問を探求していく強い意志がある人 ● 化学はもちろん、理工学部を設置科目に対して学習意欲があり、学修成果が期待できる人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員による学習サポート制度、学生によるサポート制度を活用できる。 ● 講義への早期参加 <ul style="list-style-type: none"> 1 年次からチュートリアルアワー（数学、物理学、情報学、（化学））を活用できる（化学以外の科目の学習支援）。1 年次から化学セミナー、輪講、論文紹介の機会が得られる。 ● 動機付け企画の活用 <ul style="list-style-type: none"> 1 年次から研究室見学、ラボツアー、研究室連携の機会が得られる。勉学意欲に応じて 2 年生科目(学科専門科目)の先取りが行える仕組みを予定。化学特別講義（学部 4 年生開講科目）の聴講の機会が得られる。 ● AO 入学者の交流の場形成と活用 <ul style="list-style-type: none"> 学科別 AO 入試の入学者同士の交流の場（電気情報工学、数理科学、化学）に参画できる。
------------	--	--

● **提出書類** ※詳細は募集要項（2024 年 6 月頃公開予定）で確認してください。

- ① 志望理由書：慶應義塾大学理工学部を強く志望する理由、また希望する学科の分野に関連して深い興味を持つに至る探求内容（より深く理解している科学技術の内容や科学技術系コンテストの実績など）および、入学後にどのような分野・テーマについてどのように学び、どのような夢・希望を実現したいと考えているかを 2000 字以内にまとめてください。
- ② 入学志願者調書：自己紹介を兼ねて「あなたの全体像」を表現してください。
- ③ 調査書：厳封された調査書（第 3 学年第 1 学期まで記載されているもの）を提出してください。

● **選考日程**

出願期間：2024 年 9 月下旬～10 月上旬

第 1 次選考合格発表：2024 年 10 月下旬 インターネット

第 2 次選考：2024 年 12 月上旬の土曜日

第 2 次選考合格発表：試験実施日の夕方以降 インターネット

第 3 次選考：2024 年 12 月上旬の日曜日（第 2 次選考の翌日）

第 3 次選考合格発表：2024 年 12 月中旬 インターネット

● 選考方法

第1次選考：提出された書類により選考を行います。

第2次選考：第1次選考合格者に対して、論理的な思考を問う総合審査を行います。

ただし、化学科は第2次選考を行いません。

学 科	基礎力審査	応用力審査
電気情報工学科	数学の基本的な考え方を問う筆記問題	課題解決型記述問題（物理、数学およびそれらの応用（学習指導要領の範囲内））
数理科学科	数学の基本的な考え方を問う筆記問題	数学的な思考を問う記述問題
化学科	実施しない	実施しない

第3次選考：第2次選考合格者（化学科は第1次選考合格者）に対して、面接試験を行います。

学 科	面接時間	質問内容
電気情報工学科	一人 20 分程度	物理、数学およびそれらの応用、志望動機や興味などについて
数理科学科	一人 20 分程度	数学的な考え方、および志望動機や興味などについて
化学科	一人 40 分程度	志望動機や化学全般、その他（物理、数学など）について

■ 問い合わせ先

理工学部学生課学事担当内 アドミッションズ・オフィス

TEL： 045-566-1800

メール： kym-yagami@adst.keio.ac.jp